

視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 7〕 議員名〔鷲見昌己〕

1 年 月 日	令和8年2月4日5日（日数1泊2日）
2 場 所	京丹後市
3 視察・研修事項	公共交通先進地視察
4 面 接 者	京丹後市 金木泰憲 議会事務局長 野木秀康 市長公室政策企画課 課長補佐 坪倉弘記 市長公室政策企画課 主任 NPO 法人 気張るふるさと丹後町 東 恒好 専務理事

公共交通先進地視察

1. 視察目的

公共交通空白地の解消と、運転士不足に対応した持続可能な交通体系の構築に向け、先進的に取り組む京都府京丹後市の公共交通政策を視察した。

2. 京丹後市の状況

京丹後市では、市民生活や高校生の通学手段の確保が課題となっている。このため、従来の路線バス中心の体系を見直し、公共交通網の再構築が進められている。

3. 基本的な考え方

バス停や駅から半径 500m 圏外の公共交通空白地の解消を目標に、鉄道・路線バスを基幹とし、地域ごとに最適な交通手段を組み合わせる多層的な交通体系を構築している。

4. 主な取り組み

公共ライドシェアやデマンド乗合タクシーを導入し、地域特性に応じて柔軟に運用。通学時間帯は高校生を優先するなど、利用目的に応じた対応が図られている。

5. 利用促進策

200 円バス・200 円レールなど分かりやすい運賃体系や運行間隔の改善により、利便性向上と利用促進を図っている。

6. 評価

通学や日常移動の確保とともに、運転士不足の中でも持続可能な交通体系を構築しており、「生活を支える公共交通」への転換が図られている。

7. 所感

本市・下呂市と同様に人口が分散する地域構造の中で、空白地解消と交通手段の組み合わせを進めている点は大いに参考となる。

今後、本市においても現状の整理と対応の方向性について検討を深めていく必要がある。

あわせて、新年度には執行部、運行事業者、地域団体と共に再度視察を行い、より具体的な政策検討につなげていきたい。